

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】

〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-533-3992 FAX.042-533-3993

Rotary
第2580地区



よいことの
ために
手を取りあおう

東京秋川ロータリークラブ
2025-26年度 17号

2026年1月22日
第2434回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	41	29	12	0	70.7%

本日のテーマ

卓 話 合同会社YuRaLi・28
代表社員 安達 優也 様

次回以降のプログラム

1月29日(木) 取り止め
2月 5日(木) 全員協議会
2月12日(木) 取り止め

第2433回の出席率訂正 会員40名 出席31名 メークアップ6名 欠席3名 免除0名 訂正出席率 92.5%

会長方針

皆の力で魅力的なクラブへ！

新入会員認証式

栗原 繁和 様の認証式が行われました。

会員一同より歓迎の拍手が送られ、栗原 様よりご挨拶をいただきました。

栗原 様は、佐藤 慶 君の紹介により入会されました。

株式会社ネクストステージの栗原 様より、「まだ右も左も分かりませんが、皆様に教えていただきながら頑張ってます」とのご挨拶がありました。



会長報告 山下 克己 会長

山下会長より、本日は特段の報告事項はない旨の報告がありました。

幹事報告 高橋 和宏 幹事

2月26日(木)に地区大会が開催される予定であり、秋川クラブとしてはバスでホテルニューオータニへ向かう予定です。
バス利用者には会費3,000円の協力をお願いする旨の案内がありました。

また、昨年3月に開催された武蔵村山でのIM合同例会のDVDが届いており、視聴希望者は幹事または事務局まで申し出るよう案内がありました。

ロータリーグッズ販売会社より、物価高騰等に伴う価格改定の案内が届いていることも報告されました。

さらに、2月には移動例会が予定されており、多くの会員の参加をお願いしました。

合同例会について

麻沼ガバナー補佐より、5月21日(木)に当秋川ロータリークラブホストで開催される合同例会 I・Mについて説明がありました。
今後、他クラブへの案内も進めていくため、岡部実行委員長をはじめ、各委員長への協力依頼がありました。

— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **33,000円**

・山下 克己 会長

安達 様ようこそおいで下さいました。

本日はよろしくお願いします。

栗原さんようこそ、これからよろしくお願いします。

・高橋 和宏 幹事

栗原さんようこそ、これから宜しくです。

安達 様今日はよろしくお願いします。

・柳 新次 君

皆出席5年、在籍5年をいただき。

・植松 一良 君

2月一ヶ月出席できません。

・秦 英準 君

妻誕生祝頂いて、有難うございます。

・乙戸 康博 君

早退いたします。

— 卓話 — 合同会社YuRaLi・28 代表社員 安達 優也 様

経営の大変さや良いところ障がい者と向き合う重要性など

本日の卓話では、障害福祉、グループホーム事業、地域との関わりについてお話をいただきました。

安達様は、大分県出身で、上京後は東芝に勤務され、パソコン製造やソフトウェア開発に携わられました。

2016年に奥様と合同会社YuRaLi.28を設立し、2020年より障害福祉サービスであるグループホーム「ゆらりホーム」を開設されました。

現在は青梅市内で5ユニット31室を運営し、24時間365日体制で入居者の生活を支援されています。

職員は32名で、20歳の大学生から76歳の方まで幅広い年齢層の方が勤務されています。

卓話の中では、障がい者の方々が地域で暮らすことの大切さ、自立支援の考え方、できることを奪わず苦手なことを支える姿勢についてお話がありました。

また、児童養護施設から入居される方や、8050問題により親元を離れて生活を始める方など、入居者の背景についても具体的な説明がありました。

安達様は、グループホームの運営について、単なるビジネスではなく「入居者の方に幸せを届ける仕事」とであると話されました。

そのためには、まず職員自身が幸せであることが大切であり、職員間の情報共有、チームでの支援、地域との交流を重視しているとのことでした。

地域活動としては、自治会への加入、防災訓練やお祭りへの参加、月1回の地域清掃などを行い、地域全体で入居者の安心安全を支える取り組みを進められています。

【質疑応答】

卓話後、会員より質問がありました。

障害者の歯科治療についての質問に対し、足立様より、歯磨きが苦手な方も多いため、職員が日々サポートしていること、また訪問歯科により定期的な歯科検診や歯石取りを行っているとの説明がありました。

また、入居費用については、多くの方が生活保護を利用されており、一部にはご家族が蓄えてきた資金から支払われている方もいるとの説明がありました。

障害を持つ方とのコミュニケーションについては、「感情ではなく心情で接すること」が大切であり、重要な場面では絵やノートを使って分かりやすく伝える工夫をしているとのことでした。

人材確保については、SNSや紹介を通じて関心を持った方が勤務しており、現在のところ人材不足には困っていないとのことでした。



◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央